

受注企業動向調査結果

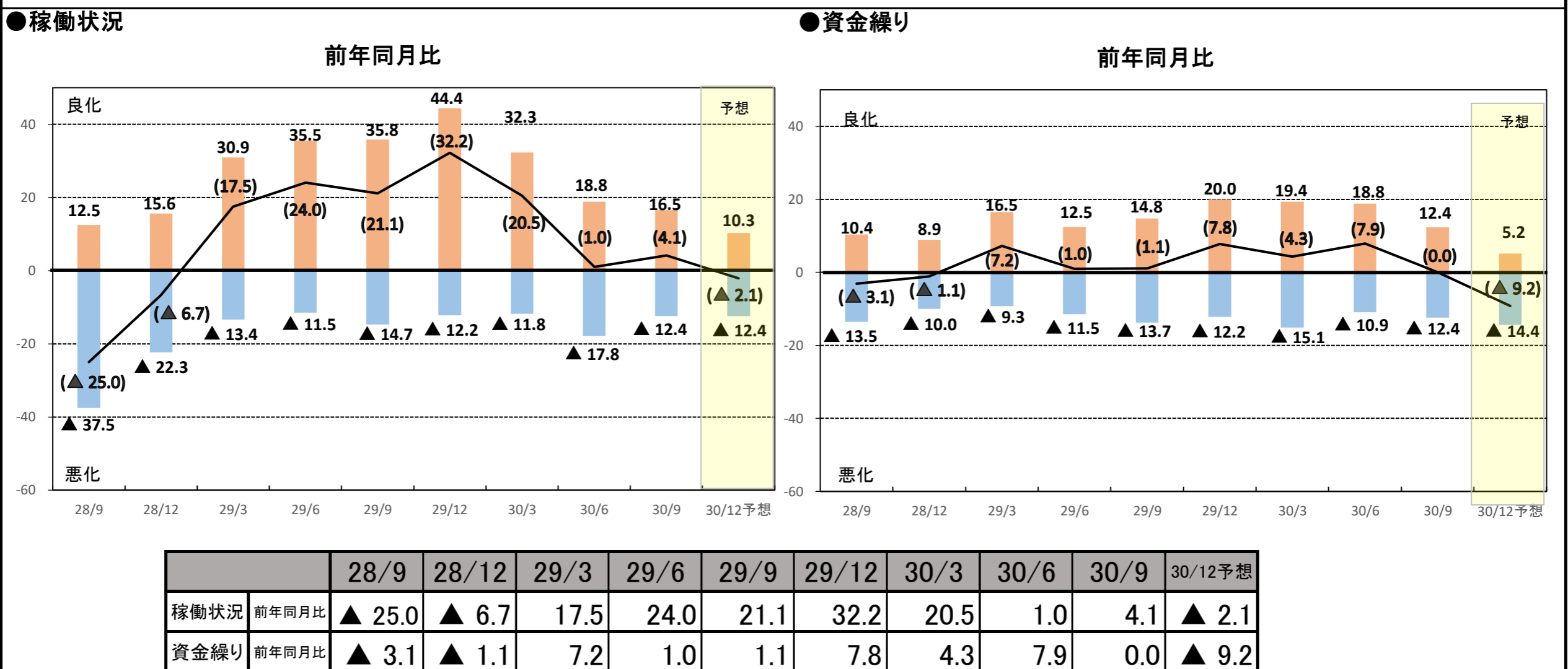
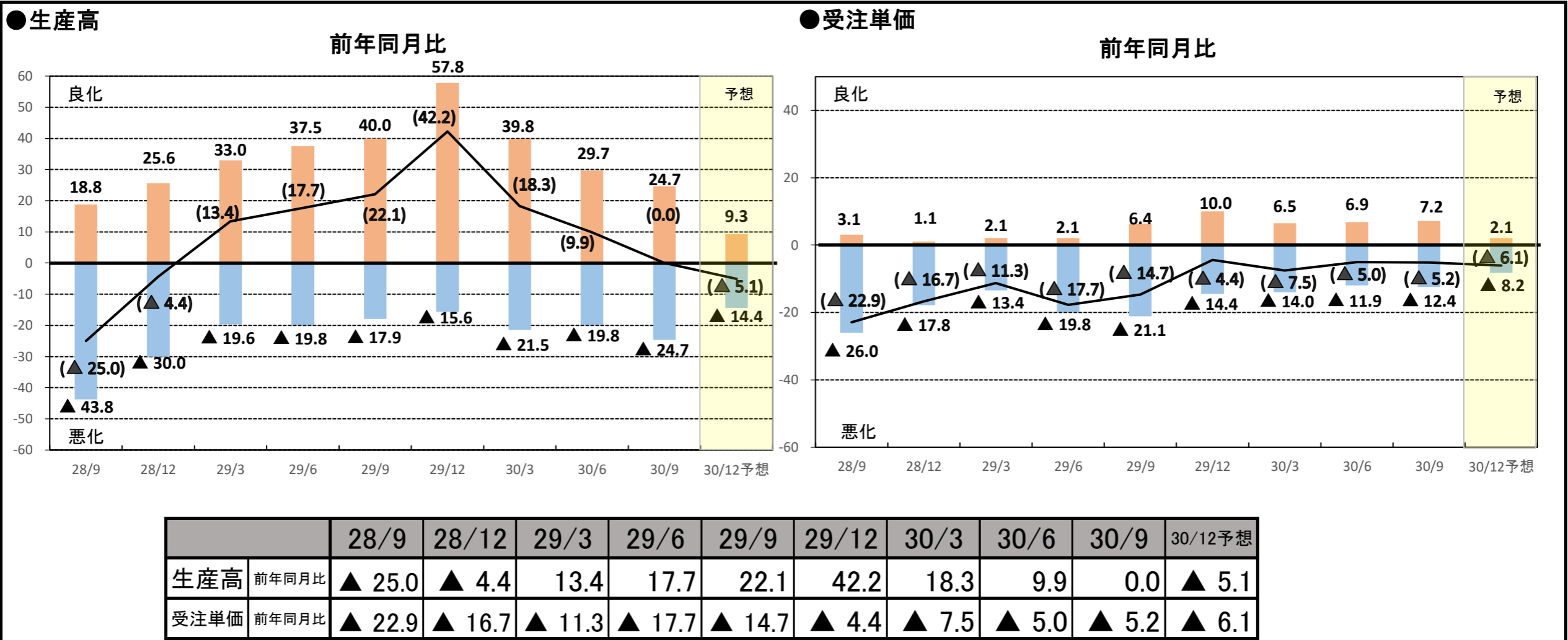
-2018.10-

- 調査時点 平成30年9月調査(平成30年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 97社(回答率:64.67%)

<業種内訳>

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	18社
一般機械器具	22社
電気機器	20社
輸送用機器	7社
精密機器	10社
縫製	5社
計	97社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- ### ●概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは0.0で前回の9.9から9.9ポイント減で悪化となった
 - ・受注単価(前年同月比)DIは▲5.2で前回の▲5.0から0.2ポイント減で悪化となった
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは4.1で前回の1.0から3.1ポイント増の改善となった
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは0.0で前回の7.9から7.9ポイント減の悪化となった
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲5.1で5.1ポイント減の悪化、受注単価は▲6.1で0.9ポイント減少の悪化、稼働状況が▲2.1で6.0ポイント減の悪化、資金繰りは▲9.2で9.2ポイント減少の悪化という予想になった。
 - ・その他自由意見として、人手不足という意見が地区に関係なく多く寄せられた。それに伴い売り上げ減少・コストアップも起きているとのこと。また、消費税増税に関連する問題が徐々に出てくるだろうという意見があった。